

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 建設局道路整備課

事業名	橋りょう耐震強化	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額		
			2,010,457	2,696,800	2,364,000		
事業概要	<p>【目的】 本事業は、東日本大震災や熊本地震を教訓とし、今後、本市において想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震など大規模災害時に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために緊急交通路などに関する重要橋りょうの耐震化を行うものである。また、地域の避難所や病院等へのアクセス確保や、橋りょう直下の道路への橋りょうの倒壊や落橋による被害を防止するため、重要橋りょう以外の橋りょうや横断歩道橋についても計画的に耐震化を行い、災害に強いまちづくりを推進するものである。</p> <p>【内容】 ○重要橋りょう150橋の耐震化 今後想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震などの大規模災害に備え、平成32年度までに重要橋りょう150橋の耐震化完了を目指す。 ○横断歩道橋71橋の耐震化(緊急交通路等を跨ぐ施設:36橋) 横断歩道橋直下の道路への横断歩道橋の倒壊や落橋による被害を防止するため、平成36年度までに横断歩道橋71橋の耐震化完了を目指す。 ○新耐震事業計画対象橋りょう214橋の耐震化 地域の避難所や病院等へのアクセス確保や、橋りょう直下の道路への橋りょうの倒壊や落橋による被害を防止するため、平成40年度までに新耐震事業計画対象橋りょう214橋の耐震化完了を目指す。</p> <p>【今年度要求のポイント】 平成30年度に横断歩道橋と新耐震事業計画の耐震対策詳細設計を開始することで、平成31年度の橋梁耐震強化事業の事業費を急減させることなく継続して事業を進めることができる。今後、国庫補助金を最大限に活用して、橋梁耐震強化事業を推進するためには、必ず平成30年度に横断歩道橋と新耐震事業計画の耐震対策詳細設計を開始する必要がある。</p>	債務負担行為	期間		要求額(千円)		
			H30～H31		79,000		
		主な要求内容 (単位:千円)					
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
		工事	2,230,500	1,908,000	大浜高架橋、高倉寺大橋ほか8橋		
		委託(工事)	167,300	20,000	昭代橋		
		(詳細設計等業務)	89,000	288,000	第2今池橋ほか20橋		
		工事監理業務	60,000	78,000			
		負担金(工事)	150,000	70,000	吾彦大橋		
		合計	2,696,800	2,364,000			
スケジュール(経過及び今後展開)							
【経過(～29年度)】		【30年度】		【今後予定(31年度～)】			
平成29年度末整備率91% (136橋/150橋)		工事予定数 12橋 完了予定数 10橋 整備率97%(146橋/150橋) 詳細設計数 21橋		平成31年度から、横断歩道橋と新耐震事業計画対象橋りょうの工事を開始。			
その他 特記事項							
みんなの審査会対象外 関連事業: 橋りょう長寿命化修繕事業							

平成30年度当初予算 予算要求シート

局・課名 : 建設局道路整備課

款 土木費					根拠法令	道路法、河川法 鉄道営業法 災害対策基本法(堺市地域防災計画) 地震防災対策特別措置法	
項 道路橋りょう費	事業名 橋りょう耐震強化						
目 道路橋りょう新設改良費							
当初予算要求・将来見込額及び財源内訳 (単位 千円)					補足事項		
項目	事業費	特 定 財 源				一般財源	<p>【課題・懸案事項】 横断歩道橋と新耐震事業計画の耐震補強工事については、橋梁長寿命化修繕計画に基づく補修工事とともに工事を実施する場合に交付金対象(重点)となるため、市の財政負担を軽減するためにも、耐震補強工事と補修工事は一体となって進める必要がある。 平成32年度に重要橋りょう150橋の耐震化が完了する予定であることから、今後は、市内すべての橋りょうの耐震化を進めていく必要がある。</p> <p>【国の動向・他市事例】 ○緊急交通路等の橋りょう ・大阪市:平成30年度完了予定(進捗率97%(320橋/331橋)) ・大阪府:平成32年度完了予定(進捗率90%(356橋/397橋)) ○横断歩道橋 ・大阪市:進捗率77%(143橋/185橋(全ての横断歩道橋)) ・大阪府:進捗率 7%(5橋/ 74橋(緊急交通路等)) ○緊急交通路等以外の橋りょう ・大阪市:平成30年度頃から南海トラフ巨大地震に対する耐震化に着手予定 ・大阪府:平成31年度頃から迂回路がない橋や大川に架かる橋の耐震化に着手予定 ・政令指定都市で、市内全ての橋りょうを耐震補強の対象橋りょうとしている自治体は、仙台市・横浜市・相模原市の3市である。3市とも市内すべての橋りょうについて、当然に耐震化するべきものと考えている。国庫補助金が充当される限り、継続して事業を実施する。 ※広域的なネットワークの確保が重要!! (近隣自治体に遅れをとらないように!!)</p>
		国庫支出金	府支出金	市債	その他		
H28決算額	2,010,457	869,915		1,014,700		125,842	
H29予算額	2,696,800	990,000		1,498,000		208,800	
H30要求額	2,364,000	715,000		1,445,600		203,400	
H31見込額	2,000,000	770,000		1,107,000		123,000	
H32見込額	2,000,000	770,000		1,107,000		123,000	
H33見込額	1,500,000	550,000		855,000		95,000	
H34見込額	1,500,000	550,000		855,000		95,000	
債務負担行為要求額		期間 H30 ~ H31					
限度額	79,000	26,070		47,500		5,430	
主な増減 (単位 千円)							
項目	金額	理由					
工事	△ 322,500	橋りょう数が減少したため					
委託(工事)	△ 147,300	橋りょう数が減少したため					
(詳細設計等業務)	199,000	橋りょう数が増加したため					
工事監理業務	18,000	施工期間の長い工事が増加したため					
負担金(工事)	△ 80,000	事業進捗によるため					
	0						
	0						
	0						
	0						
	0						
	0						
					その他(特別会計での要求等)		